

新年の挨拶



理事長 大中 孝二

新年あけましておめでとうございます

二〇二一年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃は、特別養護老人ホーム「西長洲荘」並びに「ケアハウスふれ愛花みずき」の事業運営に多大なるご協力とご支援を賜り心より厚く御礼を申し上げます。これも偏に、ご入居者様・ご利用者様をはじめご家族皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、昨今は、年初より新型コロナウイルスの感染拡大の猛威に見舞われた一年でございました。世界中でパンデミックに発展することとなり、世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルスを「緊急事態」に該当すると宣言したのを受けて、2月1日には、当時の安倍首相が感染症法に定める指定感染症の政令の施行を表明致しました。

その後は、ご承知のように感染拡大が治まらず、私共の当施設もその感染対策に追われる毎日となり、みなさまには、多大なるご心配とご不便をおかけすることとなり、現在も継続していることは残念でなりません。

しかしながら、矢中施設長以下全職員が一丸となって日夜頑張つて頂いたことにより、クラスターの発症もなくこれたことは、誠にご同慶の至りと申せましょう。

これからも油断することなく日々の介護サービスに傾注して参りたく存じます。また、この法人の創設者である南正博相談役理事が日頃より心掛けておられますご入居者様・ご利用者様のためのより快適な住環境の維持に、私どもはその使命を担っていききたいと思っております。

終わりに、この一年みなさまの安全安心な生活を、コロナに負けない明るく元気な職員の笑顔とともに、お支え申し上げたいと念じております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年あけましておめでとうございます



西長洲荘 施設長 矢中 靖彦

昨年は新型コロナウイルス感染症が発生し、これまで経験したことのない世界的な大流行となりました。また、日常業務もオンライン面会やオンライン研修、オンライン会議等々、ITを駆使した大きな変革の年となりました。

当施設におきましては、職員をはじめ、ご入居者及びご利用者、ご家族にも協力いただき、感染予防対策を徹底いたしました。不要不急の外出の制限、直接面会からオンライン面会への切り替え、季節行事をフロア単位の小規模な催しに制限等々、皆様には大変窮屈な思いをさせましたが、皆様の多大なる協力を得ることができ、無事に新しい年を迎える事が出来ました。

さらにまだまだ完全なる終息が見えない中、当分の間は、現状の対策を継続せざるを得ません。今しばらくご協力いただけますように伏してお願ひ申し上げます。

さて、本年の干支は「丑（うし）」であります。子（ねずみ）年の繁栄を土台に、丑（うし）年は先を急がず一步一步牛歩のごとく着実に物事を進める一年となるでしょう。西長洲荘もモットーである「満ち足りた老後」を、施設を利用されるすべてのみなさまに実感していただけるよう、やすらぎと潤いに満ちた地域福祉の拠点として、さまざま介護サービスを着実に提供してまいります。

どうか皆様、本年も昨年以上のご厚情を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

最後となりましたが、新しい年が、新型コロナウイルス感染症終息の年となり、職員及びご利用者、関係各位の皆様にとって素晴らしい年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

